

理科の課題

- ①ヒトや動物の体（呼吸のはたらき、体をめぐる血液）
- ②理科室の使い方（教科書を見ながら解くワークシート）
- ③理科室の使い方（テスト）

みんなが使う理科室 1・2の答え
①先生 ②くえ ③後片付け ④かみ ⑤くえ
⑥ひび ⑦そきん ⑧保護めかね ⑨右 ⑩左
⑪左 ⑫右 ⑬容器 ⑭手 ⑮そきん ⑯上
⑰下 ⑱上
答え合わせしたら、「みんなが使う理科室」のテストを
やってみよう。

○呼吸のはたらき

鼻や口から入った空気は、^{きかん}気管を通っ

て(①)に入る。(①)は、^{むね}胸のところに左右1つずつある、ふくろのような臓器である。

(①)に取り込まれた空気中の酸素は、(①)にある血管を流れる血液に取り入れられて、体全体に運ばれる。また、体内の二酸化炭素は、血液に取り入れられて(①)まで運ばれ、体の外にはき

出されます。この様に(②)

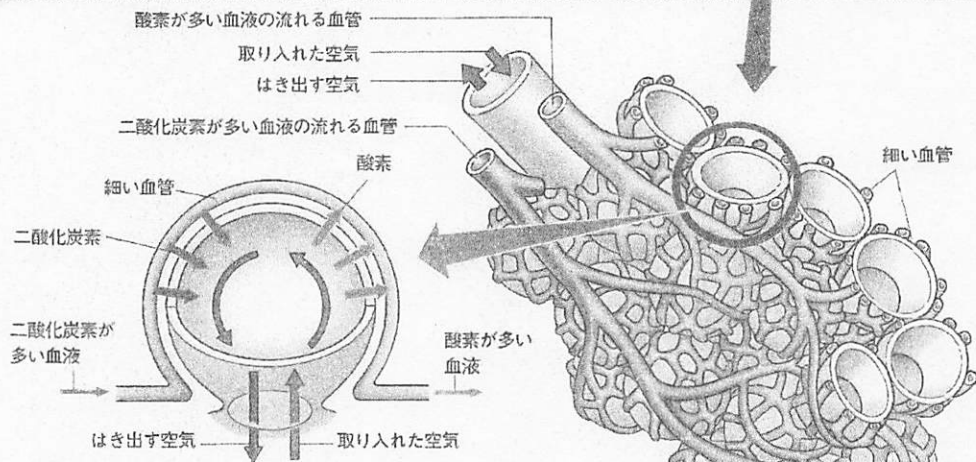
を体内に取り入れ、(③)

を体外へ出すことを、(④)

という。

資料

肺の中のしくみ



肺の中には、小さなふくろがたくさんあり、このふくろを細い血管がとりまいています。このふくろで、取り入れた空気中の酸素が血液に取り入れられ、血液で運ばれてきた不要な二酸化炭素が出されます。

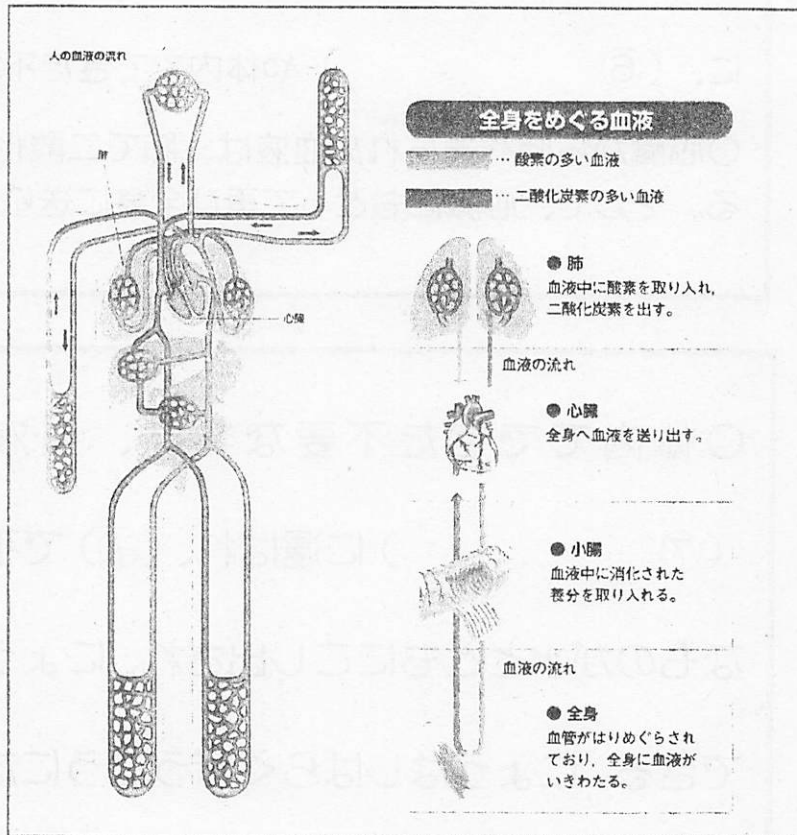
○体をめぐる血液①

○血液は(①) から
送り出され、全身にいきわたり、また(①)にもどってくる。(①)は胸のところにある、にぎりこぶしくらいの大きさの臓器である。(①)は縮んだりもどったりして、ポンプのようなはたらきをし、血液を全身に送り出している。

○この(①)の動きを(②) という。

○(②)が血管に伝わり、手首などで感じる動きを

(③) という。



<自分の脈はくを感じ、その回数を数えてみよう> 調べた日: 月 日

① 脈はくを感じる場所	
② 運動する前の脈はくの回数	1 分間あたり
③ 心臓のはく動する回数	1 分間あたり 脈はくの回数とくらべると
④ 軽い運動をした後の脈はくの回数	1 分間あたり

p36のやり方を見てやってみよう。③は手でやってみよう。

<ヒトや動物の体> p36~39を見て答えよう

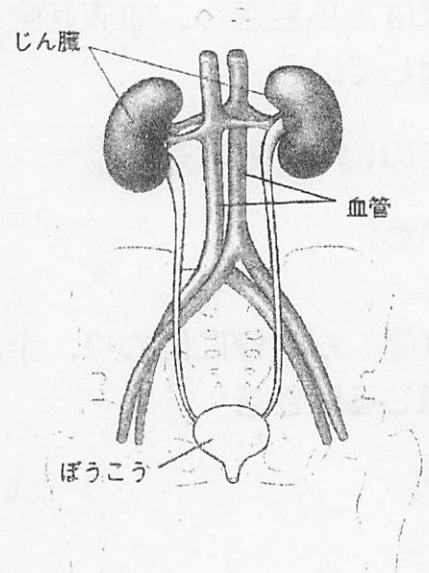
6年 組 名前:

○体をめぐる血液②

○血液は、全身に(④))や(⑤))を届けるとともに、(⑥))や体内でできた不要なものを受け取っている。

○心臓から肺へ送られた血液は、肺で二酸化炭素を出し、酸素を受け取っている。そして、心臓にもどって再び全身に送りだされる。

○体内でできた不要な物は、血液で(⑦))に運ばれ、(⑦) で不要なものが水とともにこし出され、にょうが
できる。にょうはしばらくぼうこうにためられその後、体外に出る。



みんなで使う理科室 2

6年 組 番()

教科書 91 ページを参考に、 に当てはまる言葉をかきましょう。

③実験が終わったら

《薬品の処理》・薬品を決められた に集めたか。

《器具の片づけ》・器具をていねいに洗い、 も洗ったか。

・器具を決められた場所に片づけたか。

・机を でふいたか。

正しいほうに、○をつけましょう。

(1)薬品が、手についたら

- ①6 () すぐに多量の水でじゅうぶんに洗い流す。
() ハンカチなどでよくふいておく。



(2)器具がこわれたら

- ①7 () 小さなひびなら、そのまま使用する。
() たとえ小さなひびでも、先生に知らせる。

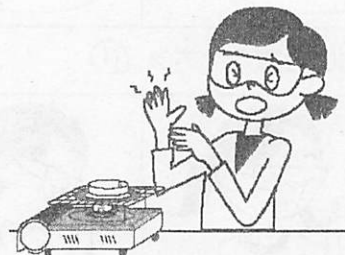


(3)やけどをしたと思ったら

- () やけどの部分が赤くなければ、そのままに
①8 しておく。
() やけどの部分が赤くなっていなくても、すぐに水で冷やす。

(4)実験中に地震が起こったら

- () すばやく、頭や体を守る姿勢をとり、
①9 机の下などに入る。
() すばやく、理科室の外にとび出す。



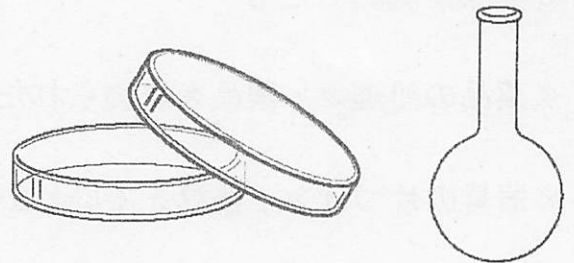
みんなで使う理科室 1

6年 組 番()

教科書 88～90 ページを参考に、 に当てはまる言葉をかきましょう。

●理科室の約束

- ① の話をよく聞き、指示を守る。
- ② の上は、きれいに片づける。
- 準備や ③ をきちんとする。



①実験を始める前に

《服装やかみの毛の確認》・長い ④ は、結んでおく。

《机の上の確認》・ ⑤ の上は、よごれていないか。

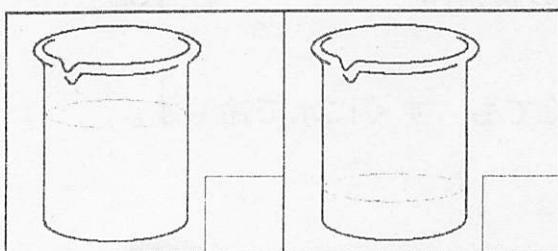
《器具の準備》・ ガラス器具に、 ⑥ が入っていないか。

《火を使うとき》・ぬれた ⑦ を準備しているか。

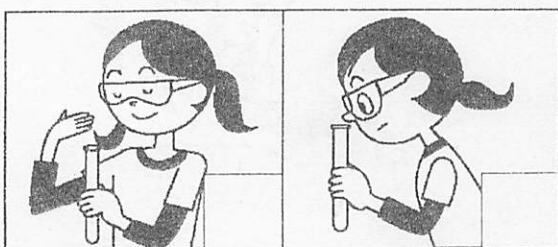
《薬品を使うとき》・薬品が目に入るのを防ぐ、 ⑧ はあるか。

②実験をするときは 正しい方法に、○をつけましょう。

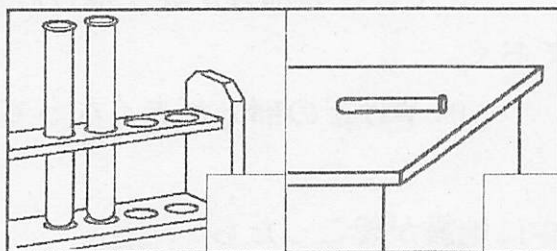
《薬品の分量》 ⑨



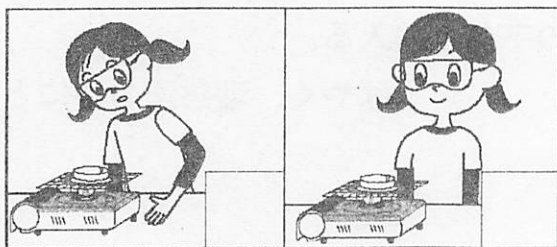
《においの確かめ方》 ⑪



《器具の置き方》 ⑩



《加熱するとき》 ⑫



1 実験を始める前の注意について、次の問いに答えましょう。

40点【(1)完答13点、(2)各3点、(3)~(5)各5点(4)は完答】

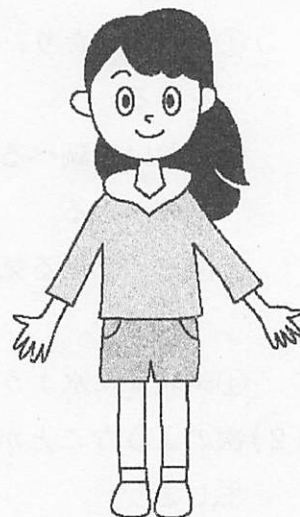
(1)安全に実験を始めるために、服装やかみの毛の確認をします。右の図について説明した次の①~③で、まちがっているものはどれですか。また、どうすればよいかもかきましよう。

- ①じゃまになりそうなので上着を1枚ぬいだ。
- ②寒かったので、結んでいたかみの毛をほどいた。
- ③上着のフードのひもをしまった。

番号 ()

どうすればよいか

[]



(2)次の文で、正しいものには○を、まちがっているものには×をつけましよう。

- ① () 実験のじゃまにならないように、器具や薬品は机のはしに置く。
- ② () 薬品を区別できるように、薬品の名前をかいたラベルを、その薬品を入れるビーカーや試験管にはっておく。
- ③ () 薬品を使うときは、保護眼鏡をかける。
- ④ () ビーカーや試験管にひびが入っていないか確認する。

(3)(2)で、×をつけたものについて、正しい方法をかきましよう。

[]

(4)次の文は、火を使うときの準備についてかかれています。()に当てはまる言葉をかきましよう。

線香やマッチの()入れや、()ぞうきんを用意しておく。

(5)ピペットのように転がりやすいものや、ゴムせんのような小さいものを机の上に置いておくときは、どのようにしておくといですか。

[]

2 実験をするときの注意について、次の問いに答えましょう。

40点【(1)各5点 (2)は完答, (2)各10点】

(1)次の () に当てはまる言葉や数値をかきましょう。

①火を使ったり、気体が出てきたりする実験では、() をしながら実験をする。

②においを調べるときは、() を直接近づけず、() であおいで確かめる。

③激しく燃える気体もあるので、性質がわからない気体には、() を近づけない。

④試験管に水よう液を入れるときは、() ほどにする。

(2)次のようなことがあった場合、どうしたらよいかかきましょう。

①まちがって、目に薬品が入ってしまった。

[]



②やけどをしたと思ったが、やけどの部分は赤くなっていなかった。

[]

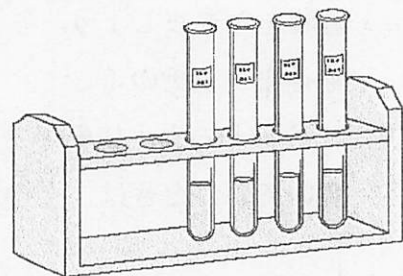


3 実験の片づけをするときの注意について、次の問いに答えましょう。

20点【各10点】

(1)実験後の水よう液(薬品)は、どのようにして片づけるかをかきましょう。

[]



(2)ガラス器具がこわれたとき、気をつけることをかきましょう。

[]